

歯科材料 09 歯科用研削材料

一般医療機器 歯科用研削材及び研磨材 JMDN70907000

ピー・ピー 綿糸ロビンソンブラシ

【禁忌・禁止】

- ・指定された用途以外には使用しないこと。
- ・無理な角度や過度の加圧はしないこと。

【形状、構造及び原理】

【概要】

: 歯科用研削材料

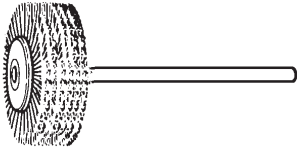
本品は、軸付HP用ブラシの歯科用研磨器材である。
下記の形状で作業部に綿糸を植毛し軸付HPブラシ

【形状、構造】

1) 作業部は、綿糸を植毛したブラシ

ブラシ部：綿糸

ブラシ形状 断面は円状



2) 軸部は ステンレス鋼

JIST 5504-1：2001（歯科用回転器具 - 軸 - 第1部：金属）のHP用
本品、軸部はストレートハンドピースに装着されるようになって
いる

【原理】

: 粉末、ペースト、クリーム又はゲル状の半固形の研磨材を塗布し
ての研磨。

【原料又は構成部品】

名 称	原 材 料 名	血液・体液等の接触の有無
ブラシ部	ブラシ素材：綿糸	無
軸部	JIST 5504-1：2001（歯科用回転器具 - 軸 - 第1部：金属製）の HP 用	無

【使用目的又は効果】

補綴物等の研磨に用いる器材をいう。別に名称を定めるものを除く。

【使用方法等】

: 本品は、軸付HP用ブラシの歯科用研磨器材である。

JIST 5907：2001（歯科用ハンドピース - 第2部：ストレート及びギ
アードアングルハンドピース）又は、同等の規格を満たしたハンド
ピースに装着して使用する。
(最高使用回転数：10,000回転/分)

【使用上の注意】

- ・使用にあたってはハンドピースメーカーの指示に従って、シャンク
を確実に奥まで挿入し半チャックではないことを確認すること。
- ・使用前に予備回転を行い、振れがないことを確認すること。
- ・無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。
- ・研磨時の摩擦熱によりブラシ部が劣化することがあるので、過度の
加圧や高回転速度での連続的な使用は避けること。
- ・変形、キレツ、損傷（錆、表面キズ、曲がり、汚損）等のあるもの
は使用しないこと。
- ・本材を使用して研磨を行う場合は、局所集塵装置、公的機関が認
定した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- ・本材使用により発疹、温疹、発赤、かゆみ、かぶれ、しびれ等の
過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、
専門医の診断を受けさせる又は受けること。
- ・本材は研削、研磨の際には保護メガネ等を使用すること。

・本材が万一目に入った場合には、直ちに大量の水で洗浄した後、
眼科医の診断を受けさせる又は受けること。

・本材は【使用目的又は効果】に記載の用途以外への使用はしない
こと。

・本材は歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

【保守・点検に係る事項】

[使用前点検]

使用前にはルーペ等により傷等の検査を行う。

【保管方法】

- ・水分、腐食性薬剤及びその蒸気に暴露を避けて、外圧（物理的
負荷）及び汚染を受けないように保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

有限会社 プロップ

電話 052-618-5777

取扱説明書を必ずご参照下さい。

1/1